

りゅうこうせいかくけつまくえん

流行性角結膜炎

―――はやりめ―――

【流行性角結膜炎とは. . .】

ウイルスが角膜（黒目）と結膜（白目）に感染して起こります。この結膜炎は症状が非常に強く、目が真っ赤になり、涙とめやにがたくさん出て、目に何かが入っているようにコロコロします。

【原因は？】

アデノウイルス8型や19型というウイルスが感染して起こります。感染して1週間くらいで結膜炎が起こってきます。

【治療】

このウイルスをころす目薬や飲み薬はありません。そこで、二次感染を防止するための抗生物質の点眼と、角膜混濁を防止するためのステロイドの点眼を行います。角膜の混濁は一度生じると1～2年にわたってつづき、長い間目がかすみますから目薬は正しく点眼するようにして下さい。

【経過】

はじめの1週間は症状が非常に強いですが、次の1週間で落ちつき、その後の1週間で治って行きます。全部でおよそ3週間かかります。

【注意点】

この結膜炎は人にうつりやすいので充分気をつけてください。とくに涙やめやにからほかの人にうつります。ほかの人への感染を防ぐために、石鹸でよく手を洗って下さい。家族ともタオルを別にして、風呂は最後にはいるようにした方がよいでしょう。また、プールには、はいつてはいけません。職場、学校での感染の危険も高いので、1～2週間くらいは休む方が感染予防の立場からは望ましいです。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8